



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月13日

上場会社名 ドリームベッド株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7791 URL <https://www.dreambed.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小出 克己  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 峰岡 道男 TEL 082 (271) 4201  
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の業績 (2023年4月1日～2023年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	7,026	△2.3	102	△59.0	196	△31.9	102	△43.1
2023年3月期第3四半期	7,193	3.3	250	△40.4	287	△35.9	180	△34.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	25.04	—
2023年3月期第3四半期	44.02	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	10,606	4,065	38.3
2023年3月期	9,646	4,050	42.0

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 4,065百万円 2023年3月期 4,050百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2024年3月期	—	16.00	—	—	—
2024年3月期 (予想)	—	—	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の業績予想 (2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,600	△2.4	150	△64.9	240	△47.7	230	△48.0	55.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期3Q	4,152,820株	2023年3月期	4,152,820株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	28,460株	2023年3月期	51,500株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期3Q	4,110,114株	2023年3月期3Q	4,110,885株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算説明会開催及び決算補足説明資料の入手方法について)

決算説明資料については、当社ウェブサイトに掲載いたします。(https://ir.dreambed.co.jp/ja/ir.html)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ感染症法上の位置づけが移行したのに伴い、経済活動の制限が緩和され景気も持ち直しつつある一方で、急激な為替相場の変動、並びにロシアによるウクライナへの侵攻、中東における紛争もあり、エネルギー価格の高騰を招く等、依然として不透明な状況が続いております。

このような経済環境下において、当社の各販売経路別の売上高の状況は以下のとおりです。

「家具販売店向け」は、ligne roset（リーン・ロゼ）商品のキャンペーンや同商品の法人向け需要の増加、またマットレスのラグジュアリーホテル企画が計画を上回るペースで好調に推移している一方で、第2四半期より飲食、旅行、サービス支出等へ消費者動向が変化していることに伴い、家具販売店における集客が継続して伸び悩んでおり、前年同四半期累計期間と比して229,375千円減少しております。

「商業施設向け」は、ホテル業界の宿泊稼働率が対前年比で改善し、マットレスのリニューアルや新規案件への投資需要がコロナ禍から回復基調にあり、当社足元案件も対前年同期比で増加しておりますが、同投資需要は来期にずれ込む見込みから、前年同四半期累計期間と比して74,351千円減少しております。

「ショップ/ショールーム」は、ROSETTogo（ロゼトゴ）発売50周年を記念したキャンペーンが奏功したのに加え、同キャンペーン第二弾も好調であり、加えてデジタルプロモーションによりECでの販売も寄与し、前年同四半期累計期間と比して156,476千円増加しております。

「ハウスメーカー向け」は、ハウスメーカーによる催事の開催が回復途上にあり、前年同四半期累計期間と比して9,775千円増加しております。

このような状況の中、当社は2023年10月より、空環創造宣言の具現化に向けて、家具ブランドマスターウォールとコラボレーションしたLunara+（ルナアラ）の発売を開始し、同月開催の個展を契機として商品ラインナップを見直しSerta Suite Series「サータスイートシリーズ」等の新商品を投入しております。

また同年12月に東京ショールームを渋谷から日本橋へ移転するとともに、首都圏営業の強化のため関連部署を集約し東京支社を開設いたしました。さらに同月新工場建設における縫製完成棟が竣工し1月より稼働いたしました。当社はこれら中期経営計画に掲げております各施策を着実に実行しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の経営成績は、売上高7,026,751千円（前年同四半期比2.3%減）、営業利益102,673千円（同59.0%減）、経常利益196,184千円（同31.9%減）、四半期純利益102,908千円（同43.1%減）となりました。

また、当社はホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産は3,837,675千円となり、前事業年度末に比べ201,431千円減少いたしました。これは主に売掛金の減少287,838千円及びその他における未収消費税等の減少124,814千円等によるものであります。未収消費税等の減少は前事業年度における八千代第一工場の新設及び増改築に係る建設仮勘定の振替に伴って、前事業年度末において未収消費税等を計上したことによるものであります。一方で、商品及び製品の増加126,408千円及び前払費用の増加107,180千円がありました。また、固定資産は6,768,645千円となり、前事業年度末に比べ1,161,395千円増加いたしました。これは主に建物（純額）の増加1,373,354千円、構築物（純額）の増加90,822千円及び投資その他の資産におけるその他の増加81,213千円等によるものであります。なお、建物は1,393,314千円、構築物は98,360千円が八千代第一工場の建て直しに係るものであります。投資その他の資産におけるその他の増加の主な要因は東京ショールーム（2023年12月1日移転リニューアルオープン）に係る敷金であります。一方で、建設仮勘定の減少463,112千円がありました。建設仮勘定の減少は八千代第一工場の建て直しに係る振替によるものであります。

この結果、総資産は10,606,321千円となり、前事業年度末に比べ959,964千円増加いたしました。

#### (負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債は4,253,920千円となり、前事業年度末に比べ78,529千円増加いたしました。これは主に未払金の増加173,566千円、短期借入金の増加146,000千円及び預り金の増加54,211千円等によるものであります。一方で、支払手形の減少179,336千円及び賞与引当金の減少96,302千円がありました。また、固定負債は2,287,177千円となり、前事業年度末に比べ866,677千円増加いたしました。これは主に長期借入金の増加850,000千円等によるものであります。長期借入金の増加は八千代第一工場の建て直しに係る資金調達として1,000,000千円のシンジケートローンによる借入を実行したことによるものであります。

この結果、負債合計は6,541,097千円となり、前事業年度末に比べ945,206千円増加いたしました。

#### (純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は4,065,223千円となり、前事業年度末に比べ14,757千円増加いた

しました。これは主に四半期純利益の計上により利益剰余金が102,908千円増加したこと、その他有価証券評価差額金が19,979千円増加したこと及び取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分、従業員持株会に対する譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分に伴い、資本剰余金が2,527千円増加し、自己株式が16,648千円減少したことによるものであります。一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が127,307千円減少いたしました。

この結果、自己資本比率は38.3%（前事業年度末は42.0%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、2023年5月11日「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（2024年2月13日）公表の「2024年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	542,228	526,414
受取手形	884,663	830,559
売掛金	1,339,597	1,051,758
商品及び製品	684,478	810,887
仕掛品	18,783	14,513
原材料及び貯蔵品	317,085	333,568
前渡金	32,055	45,007
前払費用	80,237	187,418
その他	157,676	52,447
貸倒引当金	△17,700	△14,900
流動資産合計	4,039,107	3,837,675
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,857,803	3,231,158
構築物(純額)	126,987	217,810
機械及び装置(純額)	492,122	523,284
車両運搬具(純額)	2,402	6,865
工具、器具及び備品(純額)	95,524	79,134
土地	2,114,688	2,114,688
リース資産(純額)	3,797	12,775
建設仮勘定	535,411	72,298
有形固定資産合計	5,228,737	6,258,016
無形固定資産		
ソフトウェア	29,501	16,720
その他	237	19,658
無形固定資産合計	29,738	36,378
投資その他の資産		
投資有価証券	98,860	128,591
出資金	1,200	1,200
前払年金費用	53,755	68,287
その他	194,958	276,171
投資その他の資産合計	348,773	474,250
固定資産合計	5,607,249	6,768,645
資産合計	9,646,356	10,606,321

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	827,179	647,842
買掛金	316,052	269,716
短期借入金	1,755,000	1,901,000
1年内返済予定の長期借入金	340,000	320,000
未払金	485,085	658,652
未払費用	58,019	101,638
未払法人税等	47,405	12,562
前受金	98,200	122,348
預り金	30,806	85,017
賞与引当金	184,743	88,441
製品保証引当金	19,600	29,000
リース債務	2,520	3,572
その他	10,777	14,128
流動負債合計	4,175,390	4,253,920
固定負債		
長期借入金	1,000,000	1,850,000
リース債務	1,277	9,203
繰延税金負債	353,436	362,188
その他	65,786	65,786
固定負債合計	1,420,499	2,287,177
負債合計	5,595,890	6,541,097
純資産の部		
株主資本		
資本金	785,715	785,715
資本剰余金	715,725	718,252
利益剰余金	2,589,368	2,564,970
自己株式	△37,133	△20,484
株主資本合計	4,053,675	4,048,452
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,208	16,770
評価・換算差額等合計	△3,208	16,770
純資産合計	4,050,466	4,065,223
負債純資産合計	9,646,356	10,606,321

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	7,193,699	7,026,751
売上原価	3,565,756	3,425,906
売上総利益	3,627,942	3,600,845
販売費及び一般管理費	3,377,609	3,498,171
営業利益	250,333	102,673
営業外収益		
受取利息	3	38
受取配当金	2,473	3,078
為替差益	296	409
保険解約返戻金	64,550	108,270
その他	2,770	5,751
営業外収益合計	70,092	117,547
営業外費用		
支払利息	10,866	20,840
支払手数料	21,400	—
その他	265	3,196
営業外費用合計	32,531	24,036
経常利益	287,894	196,184
特別利益		
固定資産売却益	—	149
特別利益合計	—	149
特別損失		
固定資産除却損	7,457	27,782
特別損失合計	7,457	27,782
税引前四半期純利益	280,436	168,551
法人税等	99,492	65,642
四半期純利益	180,944	102,908



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

当社は、ホームファニッシング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

助成金収入

2023年12月に竣工した当社八千代第一工場の縫製完成棟に関し、広島県「企業立地促進対策事業<原油価格・物価高騰対策>」に係る助成金の交付額確定通知書を受領しました。

(1) 交付額確定通知書受領日 2024年2月7日

(2) 助成金の交付予定額 200,000千円

(3) 損益に与える影響 2024年3月期第4四半期会計期間において、特別利益で計上いたします。